

# エアライン

学年	科目名
1	航空業界研究
1	エアカーゴ概論
1	ペン字
1	航空業界受験対策 (GS)
1	航空業界受験対策 (GH)
1	航空業界受験対策 (CA)
1	就職活動講座
1	コミュニケーションイングリッシュ
1	コンピュータ
1	アマテウスアルテア
1	空港実務
1	グランドハンドリング
1	CA受験対策
1	プレゼンテーション
1	危険物取扱試験対策
1	TOEIC選択
2	航空機概論
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	社会情勢研究
2	コンピュータ
2	アマテウスアルテア (横瀬)
2	アマテウスアルテア (原田)
2	CAゼミ

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究			クラス	P・Z	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空会社及び関連会社の事業論・現業論について学ぶ 航空輸送の現状について学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空業界の全体を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	航空産業入門(第2版)・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界の歴史・航空会社の仕事)を復習する 航空会社の今後の動向について説明し学ぶ			
2回	航空会社の商品		航空会社の商品の特性について学ぶ 航空運賃(国内運賃と国際運賃)について学ぶ 航空会社の商品の販売手法について学ぶ			
3回	CS顧客満足		CS顧客満足の重要性について学ぶ 航空会社に求められる顧客満足について学ぶ 航空会社のサービスの本質について学ぶ			
4回	航空機運航情報		運航スケジュールの見方(FLT NUMBER等)について学ぶ 飛行機の登録番号(SHIP NUMBER)について学ぶ フライトオペレーションでのブリーフィング内容、等について学ぶ			
5回	航空会社のブランド戦略		歴史から振り返るブランド戦略について学ぶ 航空会社のブランド戦略について学ぶ			
6回	航空貨物輸送		航空会社における貨物ビジネスについて学ぶ 航空貨物輸送の特徴について学ぶ 日本発着の国際航空貨物について学ぶ			
7回	LCCの台頭と特徴		LCCの生い立ちと発展について学ぶ LCCのビジネスモデルについて学ぶ LCCの新たな展開について学ぶ			
8回	運航・航空機整備		運航乗務員の概要について学ぶ エアラインの航空機整備の概要について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	世界と日本のエアライン		エアラインを取り巻く環境について学ぶ エアライン発展の一世紀について学ぶ 日本航空と全日空、新しいエアラインの動向について学ぶ			
10回	日本の航空輸送		日本の航空輸送の変遷について学ぶ 日本の航空輸送の今後の課題について学ぶ			
11回	世界の航空輸送		世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送の枠組みについて学ぶ 国際旅客輸送の現状について学ぶ			
12回	空港の基本構造		空港の基本構造について学ぶ 現代の空港ターミナルビルの構造について学ぶ 日本の空港、ランウェイデータについて学ぶ			
13回	航空業界用語		航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席、構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験		飛行機が飛び立つまでの手順(プッシュバックから離陸まで)について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論			クラス	Pクラス	
担当講師(フルネーム)	秦 隆益			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義			授業形態	講義 & 演習	
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	貨物の輸送形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期振り返り</li> <li>・貨物受託基準 ・保管基準 ・荷役作業基準 ・積付基準</li> <li>・取扱いラベルの説明</li> </ul>				
2回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重量分散</li> <li>・タイダウン要領</li> </ul>				
3回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・運航重量の算出 ・重量差異の確認</li> <li>・搭載指示書</li> <li>・通気が必要な動物取扱い</li> </ul>				
4回	危険物輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物の分類</li> <li>・航空郵便として輸送可能な危険物</li> <li>・申告漏れになりがちな危険物(隠れた危険物)</li> </ul>				
5回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物受託要件 (申告書・IATA規則書・ラベリング・マーキング・運送状・受託チェックシート)</li> </ul>				
6回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・少量危険物 ・微量危険物 ・CAO</li> <li>・搭載基準 ・隔離基準</li> </ul>				
7回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・運航部門への通知 ・機長への通知</li> <li>・危険物事故処理要領</li> <li>・危険物に起因する事故事例紹介</li> </ul>				
8回	イレギュラーケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貨物損傷、紛失</li> <li>・ダイバート、オフロード、欠航時の対処</li> <li>・事故の種類、要因等と損害賠償</li> </ul>				
9回	ロードプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WIDE/NARROW機の特徴</li> <li>・搭載計画書を作成する上での注意点 (搭載基準・隔離基準)</li> </ul>				
10回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロードプラン作成演習</li> </ul>				
11回	ウェイト&バランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト&amp;バランスの概要</li> <li>・ウェイト&amp;バランスの目的</li> </ul>				
12回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語の説明</li> <li>・重量の構成、重心位置、運用限界</li> </ul>				
13回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト&amp;バランスシート作成演習</li> </ul>				
14回	後期のまとめ / 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期授業のまとめ</li> <li>・期末試験</li> </ul>				
15回	期末試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験解答用紙の返却</li> <li>・期末試験の解説</li> <li>・1年間のまとめ</li> </ul>				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ペン字			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	しんがき佐世			実務経験	無	
授業概要(内容)	相手に好印象を与える手書きを習得、用途に合わせた書式を身につける。 ていねいに手書きに取り組む過程で、人間性を高める。			授業形態	講義&演習	
到達目標	ペン字・筆ペン練習を通して社会人の教養を身につける。落ち着いて文字を書き自己肯定感を上げる。					
使用テキスト	テキストなし(コピー対応)・下敷き・ペン2種類・筆ペン□					
成績評価方法	提出物70% 授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		15回で目指すゴールを共有し、生徒それぞれの目標を明確化する(履歴書、自己PRなど) BeforeとAfterで文字の成長を実感するため、Beforeの筆記で現状把握する 文字で自己紹介			
2回	ひらがなの基本		ひらがなの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいひらがなを書く 字は体を表す：なりたい自分や在りたい自分を言語化し、文字にする			
3回	カタカナの基本		カタカナの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいカタカナを書く 日常で多用するカタカナ用語を練習する			
4回	漢字(楷書)の基本		漢字の特徴を捉えて、バランスの取れた美しい漢字を書く 字形の整え方、部首名、ひらがなやカタカナとのバランス 四字熟語を書く：履歴書や自己PRにも使える			
5回	タテ書きの基本		タテ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたタテ書きの基本を押さえる 自分の名前の漢字バランスを捉えて練習する 座右の銘を書く：履歴書や自己PRにも使える			
6回	ヨコ書きの基本		ヨコ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたヨコ書きの基本を押さえる 自己肯定感を上げる(コーピング)リスト、下げるリストをヨコ書きする			
7回	筆ペンの基本(1)		筆ペンの基本を知り、適正な姿勢で楷書体を書き練習する 自分の氏名を美しく書く、「様」の練習(打ち込み45度、止め、はねの角度) 座右の銘を書く：筆ペンに慣れる			
8回	(実践) はがき・手紙を書く		はがき、封筒、それぞれの書式を学習する 手紙文の書き方を学習する 実践：手紙本文を書く			
9回	(実践) お礼状を書く		お礼状の目的を知り、書式を学習する 実践：一筆箋を書く			
10回	(復習) ひらがな、カタカナ、漢字		ひらがな、カタカナ、漢字の書き方を復習する 古典名言を書く：自己肯定感を上げる			
11回	(復習) ペン字/筆ペン(2)		タテ書き・ヨコ書きの書き方を復習する ビジネスでよく使うひらがな・カタカナを練習する 自己PR：座右の銘を筆ペンで書く			
12回	(実践) 履歴書を書く		履歴書の目的を知り、書式を学習する 氏名、住所をバランスよく書く ※学校指定の履歴書用紙を使用			
13回	(実践) 履歴書を書く		字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する 学歴、資格欄をバランスよく書く			
14回	(実践) 履歴書を書く		字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する アラビア数字、アルファベットを丁寧に書く 自己PR、打ち込んだことなどフリースペースを書く			
15回	まとめ		手書きのポイントのおさらい、履歴書の鉄則 BeforeとAfterの提出物で成長を確認する 自分自身へポジティブフィードバック&伸び代フィードバックの手紙を書く			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策(GS)			クラス	P①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	全体で共有し、仲間の意見を参考にしながら進める GSの役割や求められる能力を理解し、ESや面接の対策を行う			授業形態	講義	
到達目標	内定を目指し、働く覚悟を持つ					
使用テキスト	就職活動ノート(各自使用しているもの)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題、小テスト、授業態度で評価する				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 1分間スピーチについて				
2回	自己分析	振り返り共有する 自己PRを見直す 面接				
3回	求められる人物像	GSの業務、役割を復習する GSに求められる能力を考える 面接				
4回	目指すGS像と人物像	GSとして3年後、5年後、10年後の業務、役割について学ぶ 目指すGS像と人物像を考え共有する 面接				
5回	志望動機	志望動機を考える 具体的に自分の言葉で伝えているか確認する 面接				
6回	グループディスカッション	様々な討論方式を紹介する 進行のポイントを学び実践する				
7回	グループディスカッション	様々なテーマでディスカッションする 面接				
8回	サービス	サービスについて考える 面接				
9回	クレーム	クレームについて考える 面接				
10回	試験対策	面接・添削				
11回	試験対策	面接・添削				
12回	試験対策	面接・添削				
13回	試験対策	面接・添削				
14回	試験対策	面接・添削				
15回	試験対策	面接・添削				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策(GH)			クラス	P②	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験に向けた書類作成、面接練習を行う。			授業形態	講義	
到達目標	目標に向け取り組ませ、内定を勝ち取る。					
使用テキスト	就職ノート・プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題、提出物、授業態度で評価する				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き、等)について学ぶ 個々と面談(方向性の確認)			
2回	受験準備		就職活動(航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)			
3回	受験対策		求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)			
4回	受験対策		求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)			
5回	受験対策		求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習、フィードバック			
6回	受験対策		求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習			
7回	受験対策		求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習			
8回	受験対策		求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習、フィードバック			
9回	受験対策		書類作成(添削) 面接練習、フィードバック			
10回	受験対策		書類作成(添削) 面接練習、フィードバック			
11回	受験対策		面接、フィードバック			
12回	受験対策		面接練習、フィードバック			
13回	受験対策		面接、フィードバック			
14回	受験対策		面接、フィードバック			
15回	まとめ		社会人としての自覚を持たせる 個々と面談			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	航空業界受験対策CA			クラス	P
担当講師(フルネーム)				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	CAとしての考え方や振る舞いを自ら考えプレゼンする モックアップを使用して状況に合わせたふるまいを身につける			授業形態	講義
到達目標	CAとして求められる対応力・柔軟性・思考力を瞬時に発揮できる能力を身につける				
使用テキスト	使用しません				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	授業案内	この授業の進め方と2年次における目標を設定する			
2回	自己PR①	実習経験を踏まえた自己PRを考える (実技) シートを作成し発表			
3回	志望動機①	志望する企業に対する志望動機を考える (実技)シートを作成し発表			
4回	GD①	CAの試験でのGDのテーマを実際に体験する (他者のディスカッションを観察・評価)			
5回	質疑応答①	面接で聞かれる基本的質疑応答に対応する			
6回	自己PR②	現時点での経験を踏まえた自己PRを考えプレゼンする			
7回	志望動機②	業界の動向を調べたうえでの志望動機を作成演習			
8回	GD②	あらゆるテーマのディスカッションに対応できるようアドリブ力を鍛える			
9回	質疑応答②	時事問題に関する質疑応答の演習			
10回	ディベート	社会人として必要な考え方を習得するためのディスカッション演習			
11回	質疑応答対策③	面接で聞かれる質疑応答に対する演習			
12回	質疑応答対策④	面接で聞かれる質疑応答に対する演習			
13回	質疑応答対策⑤	面接で聞かれる質疑応答に対する演習			
14回	実技試験①	個人面接(待機時間に書類を作成)			
15回	実技試験②	個人面接(待機時間に書類を作成)			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	小林俊也/原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて面接対策を実施			授業形態	講義	
到達目標	深堀にも対応できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみにより評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		業界求人動向 1年次前期の振り返り 企業説明会参加時の心構え			
2回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
3回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
4回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
5回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
6回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
7回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
8回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
9回	模擬面接		エントリーシート・履歴書作成の仕方 志望動機の書き方			
10回	模擬面接		WEB面接・動画作成について 志望動機、自己PR、ガクチャ確認			
11回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
12回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
13回	後期試験		グループ面接 フィードバック			
14回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
15回	まとめ		理想の社会人像、キャリアプランについて発表 就職活動全般の質疑応答			



対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング基礎編(新装版) 予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント25% 平常点15% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	日常英会話 基礎編	Lesson16 Scene 8-1:感想(1)				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson17 Scene 8-2:感想(2)				
3回	おもてなし英会話	Lesson18 空港:出発ゲートの業務				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson19 Scene 9-1:ほめる(1)				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson20 Scene 9-2:ほめる(2)				
6回	おもてなし英会話	Lesson21 空港:預け入れ荷物の返却				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson22 Scene 10:気づかう				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson23 Scene 11:依頼				
9回	おもてなし英会話	Lesson24 空港:よく聞かれる質問				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson25 Scene 12-1:提案(1)				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson26 Scene 12-2:提案(2)				
12回	おもてなし英会話	Lesson27 機内:搭乗時				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson28 Scene 13-1:スモールトーク(1)				
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント	Lesson29 Scene 13-2:スモールトーク(2) スピーキングアセスメント				
15回	おもてなし英会話	Lesson30 機内:離着陸時				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン 科	
科目名	コンピュータ			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	基本的な表作成や計算力をつける。就活に必要なパソコンスキルを習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験60% 小テスト・提出課題20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	パソコン活用		ビジネスメールの形式とマナー ビジネスメールの形式を理解し、実際にメールを送ってみる クラウド機能を理解し、活用する			
2回	Excel基礎		タイピングレッスン Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数			
3回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
4回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成・先週の確認 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
5回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成・先週の確認 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
6回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)			
7回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める			
8回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)			
9回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成・先週の確認 関数(RANK、IF関数など)			
10回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 関数VLOOKUP関数など)			
11回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 今までの復習問題①			
12回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 今までの復習問題②			
13回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 今までの復習問題③、期末試験対策			
14回	後期期末試験		期末試験			
15回	振り返り		期末試験確認			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	予約の基礎に加え、応用へと進み航空業界の知識も深める。 座席指定や機内食・マイル登録など複雑なPNR作成を行う。			授業形態	講義 & 演習	
到達目標	予約操作全般をマスターする。アマデウスシステム検定「初級」全員合格を目指す					
使用テキスト	amadeusu ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		後期授業の進め方について(実習者へ・検定受験について・学生便覧にて確認) 簡単なPNR作成を行う(直行・乗継ぎ・オプション指定含む) ※「PNR作成集中プリント」使用 DNEエントリー入力(機材の大きさチェック)			
2回	前期復習Ⅱ		小児・幼児を含む、PNR作成を行う PNRの完了後の画面確認(ステータスコードの確認)・抽出の復習を行う			
3回	予約変更と取消		予約便の変更(SB入力) 予約便の取り消し(XE・XI入力)			
4回	旅客データ訂正		旅客氏名の入力(ヘボン式確認)と氏名変更について学ぶ、入力する 連絡先(TEL)・発券期限の訂正を行う			
5回	ダイレクトアクセス		※確認テスト実施 ダイレクトアクセスとは何かを学ぶ ダイレクトアクセス空席照会とAN(空席照会)の違いは何かを理解する			
6回	その他・便利入力		便利入力(キーボード・画面履歴・スピードマスター)を使用して、PNR操作処理を高める Service Hubについて学ぶ オープンセグメント作成			
7回	SSR入力		SSRとは何か(概要)を学ぶ 機内食入力について概要説明、メインの食事サービスコードを覚える 機内食入力を含む、PNR作成を行う			
8回	SSR入力Ⅱ		座席指定(座席番号指定)を含む、PNR作成を行う シートマップからの(グラフィックページにて)座席配列や有料・無料座席を確認する SSRにて携帯電話とメールアドレス入力を行う(連絡先入力との違いも理解する)			
9回	中間試験		中間試験実施(※後期成績評価対象となる)			
10回	SSRの追加と取消		今まで学んだ様々なSSRをPNRに追加する SSRの取消も行う サービスカタログの見方を学ぶ(車いす、手荷物、バシネットやインファント入力)			
11回	その他・特別な入力		マイルサービスとは何かを学び、FFP入力を含むPNR作成を行う 完成したPNR構成中のOSIやSSR表示の意味を理解する(何のために入力されているのか) SSRとOSIの違いについて学ぶ			
12回	検定対策		初めての検定に向けての、心構えを学ぶ 検定対策(過去問題と添削)			
13回	検定対策Ⅱ		検定対策(クラスルーム使用・WEB試験にて検定対策を行う)			
14回	期末試験		後期・期末試験の実施			
15回	総復習		後期の総復習(検定初級問題の内容に準じて行う) 後期・期末試験返却と答え合わせ			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	P①	
担当講師(フルネーム)	原田 歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際線における基礎知識を身につける 出発ロビーでの業務、航空会社のルールを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	チェックイン業務においてルールに基づいて対応できるようになる					
使用テキスト	JALグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 実習報告		授業の目的、進め方、成績評価方法について 前期の復習 実習報告			
2回	出入国書類		パスポートやビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ			
3回	CIQ①		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ			
4回	CIQ②		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ			
5回	アライアンス		3つのアライアンスについて学ぶ アライアンスに加盟するメリットを理解する			
6回	保安		アメリカ同時多発テロ事件、全日空機ハイジャック事件などについて学ぶ 保安に対する意識を高める			
7回	予約・チェックイン業務①		グループワークについて説明			
8回	予約・チェックイン業務②		グループワーク			
9回	予約・チェックイン業務③		グループワーク			
10回	予約・チェックイン業務④		グループワーク			
11回	予約・チェックイン業務⑤		グループワーク			
12回	予約・チェックイン業務⑥		グループワーク			
13回	実技試験		予約・チェックイン業務			
14回	実技試験		予約・チェックイン業務			
15回	期末試験		1年間のまとめ			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	グランドハンドリング			クラス	P選択
担当講師(フルネーム)	松下 良朗			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を深め、一歩踏み込んだ空港の現場の実際を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な知識をより深め、即戦力として求められる人材を目指す。				
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	・授業の進め方・1年時の授業内容理解度の確認			
2回	グランドハンドリング概要	・動画視聴等によりハンドリングについて、理解を深める。(LOADING/UNLOADING) ・※配布資料及び航空機のグランドハンドリング			
3回	グランドハンドリング概要	・動画視聴等によりハンドリングについて、理解を深める。(TOWING/PUSHBACK/VDGS) ・※配布資料及び航空機のグランドハンドリング			
4回	グランドハンドリング概要	・動画視聴等によりハンドリングについて、理解を深める。(地上支援器材) ・※配布資料及び航空機のグランドハンドリング			
5回	グランドハンドリング概要	・動画視聴等によりハンドリングについて、理解を深める。(搭降載作業手順)GOM/LDM/CLM ・※配布資料			
6回	グランドハンドリング資料	・グランドハンドリングにおける資料(用語/コード)についてリマインドし理解を深める。 ・海外空港について学ぶ。			
7回	航空保安概要	・制限区域/保安区域について知る。保安要員の役割を学ぶ。			
8回	航空危険物	・航空危険物取扱について更に深掘りし危険物の航空輸送についての重要性を学ぶ。 ・搭載部門/旅客部門での取り扱い 受託の流れを理解する。			
9回	安全管理	・空港安全管理規定及び航空会社規定/ランフ安全について学ぶ。			
10回	品質管理	・定時制の確保/SKD管理/教育工程等を学び航空各社の取り組みを知る。			
11回	空港規定	・航空法/制限区域規定/保安規定を知り、航空局/運営管理会社と航空会社の業務との関わりを考える。			
12回	コンプライアンス	・法令順守/社会との約束 社会人企業人として求められる人材とは。社会的リスク/運用リスク/とは ・事例について学ぶ。			
13回	フィロソフィ	・JALフィロソフィを学ぶ。			
14回	前期期末試験	・前期授業まとめ ・期末試験(30分間)			
15回	前期授業振り返り	・期末試験返却 解説			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	CA受験ゼミ			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	高田絵里子			実務経験		
授業概要(内容)	就職面接における一次面接突破のために第一印象を整える			授業形態	講義	
到達目標	CA受験に自信を持って臨める為の面接レベルを目標とする					
使用テキスト						
成績評価方法	・期末試験40% 平常点60% 授業態度、課題、身だしなみによる評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について CAの仕事のおさらい、不安に感じている事などを共有				
2回	印象力について	CA面接本番に向けて第一印象を見直す				
3回	企業研究	企業について深堀り 志望動機を考えてみる				
4回	企業研究	企業について深堀り エントリーシートの書き方				
5回	面接対策	集団面接 質疑応答 立ち居振る舞い、言葉遣い、所作などを確認				
6回	面接対策	集団面接 質疑応答 立ち居振る舞い、言葉遣い、所作などを確認				
7回	中間試験	入退室の含む面接試験				
8回	面接対策	グループディスカッション				
9回	面接対策	グループディスカッション				
10回	面接対策	企業に合わせた面接対策				
11回	面接対策	個別面接				
12回	面接対策	総合まとめ対策				
13回	期末試験①	CAの志望動機を発表				
14回	期末試験②	グループディスカッション面接試験				
15回	まとめ	これまでの授業を振り返り、自己分析をして2年生に向けての目標を設定する				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	プレゼンテーション			クラス	P①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	大勢のお客さまの前で話すことを想像し、表情や話し方を磨く 自分の考えを相手に伝える			授業形態	講義 & 演習	
到達目標	自分の殻を破り、自信を持って話せるようになる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	授業態度、実技にて評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目的、進め方、成績評価方法について</li> <li>・動画撮影</li> </ul>				
2回	今の自分を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価を共有する</li> <li>・見た目の印象アップを図る</li> </ul>				
3回	ポイント①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントを学ぶ</li> <li>・ポイントを取り入れ変化を学ぶ</li> </ul>				
4回	ポイント②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントを取り入れ変化を学ぶ</li> <li>・相手との距離に合わせて話す</li> </ul>				
5回	テーマ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示されたテーマに基づき、ペアでプレゼンテーションを行う</li> <li>・評価および共有する</li> </ul>				
6回	テーマ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示されたテーマに基づき、ペアでプレゼンテーションを行う</li> <li>・評価および共有する</li> </ul>				
7回	テーマ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う</li> <li>・評価および共有する</li> </ul>				
8回	テーマ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う</li> <li>・評価および共有する</li> </ul>				
9回	テーマ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う</li> <li>・評価および共有する</li> </ul>				
10回	テーマ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で決めたテーマに基づき、プレゼンテーションを行う</li> <li>・評価および共有する</li> </ul>				
11回	グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数参加型のイベントを考案する</li> </ul>				
12回	イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催</li> </ul>				
13回	今の自分を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分についてプレゼンテーションを行う</li> <li>・動画撮影</li> </ul>				
14回	今の自分を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分についてプレゼンテーションを行う</li> <li>・動画撮影</li> </ul>				
15回	今の自分を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分についてプレゼンテーションを行う</li> <li>・動画撮影</li> <li>・自分の変化に気づく</li> </ul>				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名	危険物取扱者対策(選択)				クラス	p	
担当講師(フルネーム)	池内 勝				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般				授業形態	講義	
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得						
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	燃焼と消火		物理及び化学の基礎について				
2回	燃焼と消火		物理及び化学の基礎について				
3回	燃焼と消火		危険物の性質 消火方法、消火設備について				
4回	燃焼と消火		危険物の性質 問題解説				
5回	燃焼と消火		危険物の性質 問題解説				
6回	燃焼と消火		過去問題を解く 問題解説				
7回	燃焼と消火		過去問題を解く 問題解説				
8回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説				
9回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説				
10回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説				
11回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説				
12回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説				
13回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説				
14回	期末試験対策		後期のまとめ 期末試験対策について				
15回	期末試験		期末試験対策の解説 後期の授業の進め方について				



対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC選択			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 (朝日出版)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト				
2回	品詞問題&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5				
3回	時制&Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5				
4回	自動詞&他動詞Part3	自動詞・他動詞の見分け方 自動詞、他動詞を見分けて問題を解く Part3 Part5				
5回	不定詞&Part3	不定詞 Part3 Part5				
6回	動名詞&Part4	動名詞 Part4 Part5				
7回	分詞の形容詞的用法 Part4	分詞の形容詞的用法 Part4 Part5				
8回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語練習				
9回	名詞・冠詞 part6	名詞・冠詞 Part6 Part5				
10回	接続詞 Part1&2	接続詞 Part1&2 Part5				
11回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5				
12回	模擬テスト (リーディング)	模擬テスト 解答				
13回	仮定法	仮定法 Part6 Part5				
14回	期末テスト	期末テスト				
15回	文法総復習	後期復習 期末返却				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空機概論			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空機の発達、技術の進歩および飛行機が飛ぶ仕組みについて学ぶ 世界の空で活躍する旅客機のメーカー・機種・メカニズムについて学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空機の名称と各部の機能、役割、特性について理解する					
使用テキスト	航空知識のABC・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的について具体的に説明する 授業の進め方・成績評価方法について説明する 航空機に対する思い、イメージ等について意見交換を行う			
2回	航空機製造メーカー		航空機製造メーカーについて学ぶ 航空機製造の流れについて学ぶ 航空機製造において、共同開発に参画している日本企業について学ぶ			
3回	飛行機の構造		飛行機の形、その理由について学ぶ 飛行機の各部の名称・機能について学ぶ 飛行機の構造と製造プロセスについて学ぶ			
4回	飛行の原理		飛行機と航空機の違いについて学ぶ 飛行機が飛ぶための原理(4つの力)について学ぶ 離陸・旋回・着陸のための仕組みについて学ぶ			
5回	旅客機のメカニズム		飛行機が軽くて丈夫なわけについて学ぶ 飛行機の胴体断面が円い理由について学ぶ 旅客機の主翼はなぜ細長いのか？主翼には何が入っているのか？について学ぶ			
6回	機体構造と役割		主翼・水平尾翼・垂直尾翼が飛行に果たす役割について学ぶ 動翼(スポイラー・フラップ・エルロン・エレベーター・ラダー)及び主輪・前輪の構造、役割について学ぶ			
7回	機体構造と役割		制動装置(ブレーキ・システム)の仕組みについて学ぶ 地表と航空機をつなぐ着陸装置(緩衝装置)について学ぶ 航空機用タイヤについて学ぶ			
8回	機体構造と役割		飛行機の発電システムと動力供給システムについて学ぶ 飛行機の与圧・空調装置の仕組みについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	機体構造と役割		ジェット・エンジンのしくみ、働きと種類について学ぶ ターボジェット・エンジン、ターボプロップ・エンジン、ターボシャフト・エンジンの違いについて学ぶ ターボファン・エンジンの働きについて学ぶ			
10回	機体構造と役割		機体の内部構造、各種ドアについて学ぶ 客室(座席の種類・座席の配列・ギャレーの構造及び機能・収納庫、等)について学ぶ 貨物室(前方・後方・バルク)について学ぶ			
11回	飛行機の運航システム		旅客機のコクピットはどのような仕組みになっているか学ぶ 日本の航空会社で活躍中の最新旅客機のコクピットについて学ぶ 巡航高度はどのように保たれているかについて学ぶ			
12回	飛行機の運航システム		電波・目視・ボイスなど様々なアプローチ法について学ぶ 安全運航を脅かす気象現象について学ぶ 自動操縦装置機能が安全運航に果たす役割について学ぶ			
13回	飛行に関わる機体の要素		飛行機に装備されている灯火系統の種類と役割について学ぶ 飛行機に装備されている多種多様なアンテナについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験		ハイテクを駆使して収益性や環境保護に配慮した最新鋭旅客機について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Q
担当講師(フルネーム)	Christian Meikado			実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	チャレンジブック#4、各種プリント配布				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション Warm Up: P7, Vocabulary: P1 チャレンジブック P7 とにかくひとこと Dialog 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with A Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
2回	Warm Up: P7, Vocabulary: P1 チャレンジブック P8 とにかくひとこと Dialog 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with A Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
3回	Warm Up: P7, Vocabulary: P2 チャレンジブック P9 とにかくひとこと Dialog 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with B Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
4回	Warm Up: P10, Vocabulary: P2 チャレンジブック P10 とにかくひとこと Dialog 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with B Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
5回	Warm Up: P10, Vocabulary: P3 チャレンジブック P11 とにかくひとこと Dialog 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with C Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
6回	Warm Up: P10, Vocabulary: P3 チャレンジブック P12 とにかくひとこと Dialog 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with C Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
7回	Warm Up: P13, Vocabulary: P4 チャレンジブック P13 とにかくひとこと Dialog 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with D Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
8回	Warm Up: P13, Vocabulary: P4 チャレンジブック P14 とにかくひとこと Dialog 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with D Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
9回	Warm Up: P13, Vocabulary: P5 チャレンジブック P15 とにかくひとこと Dialog 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with E Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
10回	Warm Up: P16, Vocabulary: P5 チャレンジブック P16 とにかくひとこと Dialog 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with E Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
11回	Warm Up: P16, Vocabulary: P6 チャレンジブック P21 とにかくひとこと Dialog 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with F Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
12回	Warm Up: P16, Vocabulary: P6 チャレンジブック P22 とにかくひとこと Dialog 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with F Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
13回	Warm Up: P19, Vocabulary: P7 チャレンジブック P23 とにかくひとこと Dialog 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with G Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
14回	Warm Up: P19, Vocabulary: P7 チャレンジブック P24 とにかくひとこと Dialog 8		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with G Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		
15回	Warm Up: P19, Vocabulary: P8 チャレンジブック P25 とにかくひとこと Dialog 8, test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with H Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog		

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	社会情勢研究			クラス	Q クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	インターネットを通じて、社会情勢を理解する			授業形態	講義&演習	
到達目標	・メディアリテラシーを身につける ・自分の意見をまとめ、表現する					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物、授業内プレゼンテーション、授業態度等で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について理解する メディアリテラシーとは何かを知る 新聞の文章の特徴をつかむ 全国紙4紙新聞社デジタル版のホームページを読む				
2回	新聞社デジタル版のコラムを読む	コラムを読み、自分の意見をまとめ、発表する				
3回	新聞社デジタル版を読む①	全国紙3紙新聞社デジタル版の社説を読み、特徴をつかむ				
4回	新聞社デジタル版を読む②	全国紙3紙新聞社デジタル版の社説を読み、特徴をつかむ				
5回	朝日新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
6回	朝日新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
7回	毎日新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
8回	毎日新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
9回	読売新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
10回	読売新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				
11回	新聞社デジタル版を読む	2024年のニュースを振り返る				
12回	新聞を作る①	記事の中から興味がある記事を選び、新聞を作る (社会・政治・経済・国際・地域の各欄から一記事ずつ選ぶ)				
13回	新聞を作る②	作成した新聞を読み、意見・感想を発表する				
14回	新聞社デジタル版を読む ① 「私のトップニュース」	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				
15回	新聞社デジタル版を読む ② 「私のトップニュース」	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン 科	
科目名	コンピュータ			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末テスト40% 提出課題40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Excel応用	Excel復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算				
2回	Excel応用	Excel復習 IF関数、VLOOKUP関数など				
3回	Word応用	報告書のフォーム作成 社会生活の中で必要な電子印鑑について				
4回	Office活用	データ分析のための集計関数を学び、報告書作成 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUM関数				
5回	Office活用	データ分析のための集計関数を学び、報告書作成 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUM関数				
6回	Office活用	HalloweenパーティのDMを作ろう① Excelで名簿作成 WordでDM用チラシ作成				
7回	Office活用	HalloweenパーティのDMを作ろう② DM仕上げ Word差し込み印刷機能でDMに宛名挿入				
8回	Excel応用	Excel復習 Excel方眼紙でアンケートフォームを作ろう				
9回	Excel応用	Excel復習 Excel方眼紙でアンケートフォームを作ろう				
10回	Office総合	クリスマスカード作成① 作成する内容をWord、またはPowerPointでまとめる コンテンツの準備				
11回	Office総合	クリスマスカード作成② 作成する内容をWord、またはPowerPointでまとめる コンテンツの準備				
12回	Office総合	クリスマスカード作成③ 仕上げ、PDFファイル化 クラウドにアップロード				
13回	Office総合	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
14回	Office総合	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
15回	Office総合	期末テスト				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	運賃計算を主に、運賃表からの運賃規則やルーティングを確認する。 また、PNR作成後の最安値運賃計算や発券操作も行う。			授業形態	講義&演習	
到達目標	アマデウスシステム検定・中級を取得する(希望者のみ)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 運賃・発券 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	前期復習	後期授業の進め方について(検定受験について・学生便覧にて確認) ※前期最終日に配布した「FGD・FXX」プリントの答え合わせ				
2回	予約全般(応用編) I	PNRの分割(復習)とPNRコピー入力を行う アマデウス履歴画面の使用方法を学ぶ				
3回	予約全般(応用編) II	SSR入力の応用を行う サービスカタログを使用してSSR入力する バシネット・車椅子の入力練習をする				
4回	旅客氏名アップデート	旅客氏名の入力や訂正についての注意事項を確認する その他、予約変更やデータ訂正の復習も行う				
5回	運賃表復習	運賃表にて、各航空会社の最安値運賃を確認する(復習) 運賃表からの、規則確認(手数料・予約や発券期限・ストップオーバーなど)をする 運賃表からの、通貨換算エントリーを学ぶ				
6回	ルーティング	運賃表からの、(各航空会社指定の)飛行ルートを確認する				
7回	PNR作成後の運賃計算 I	PNR作成後、運賃計算を行う(FXP/FXX)				
8回	PNR作成後の運賃計算 II	運賃計算後の画面確認を行う				
9回	BEST PRICER①	PNR作成後、最安値運賃を表示させる(FXA)				
10回	BEST PRICER②	PNR作成後、最安値運賃で再予約する(FXB/FXR) 入力の違いを理解する				
11回	PNR作成と発券 I	発券操作と画面確認				
12回	PNR作成と発券 II	PNR作成後のTST作成 お客様控えの印刷				
13回	検定対策	中級試験の内容(選択問題とPNR作成について)を理解する 検定対策(過去問題と添削)				
14回	期末試験	期末試験実施 予約全般(便利入力を使用しPNR作成を行う、SSR/分割&コピーを含む) 運賃全般(作成したPNRからの最安値運賃を計算して発券操作からお客様控えを印刷する)				
15回	総復習	期末試験実施試験の返却と答え合わせ				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Q②	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	GDSの役割を理解する コード検索、予約作成など基本操作を習得する			授業形態	講義	
到達目標	PNRを完成させる					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約、早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法 ・GDSとは？ ・アマデウスの起動方法				
2回	各種コード検索①	・都市コード、空港コード、航空会社コードなど ・表示内容を読み取る				
3回	各種コード検索②	・復習 ・国コード、州コード、機材コードなど ・表示内容を読み取る				
4回	タイムテーブル	・復習 ・タイムテーブルエントリー ・表示内容を読み取る				
5回	空席照会①	・復習 ・空席照会基本エントリー ・空席照会オプションエントリー				
6回	空席照会②	・復習 ・空席照会オプションエントリー ・空席照会ショートカットエントリー				
7回	復習テスト	・各種コード～空席照会エントリーの復習テスト				
8回	予約①	・直行便フライト予約 ・乗継便フライト予約 ・ARNK入力				
9回	予約②	・復習 ・名前入力				
10回	予約③	・復習 ・連絡先。発券状況、送信元入力 ・PNRを完成させる				
11回	予約④	・練習問題				
12回	予約⑤	・PNRを読み取る				
13回	変更	・復習 ・予約便変更				
14回	キャンセル	・復習 ・予約便キャンセル ・旅客データ訂正				
15回	期末試験	・期末試験 ・まとめ				



対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CAゼミ			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	高田絵里子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	グループワークやビジネスゲームなどを通して社会人としての心構えを体得する就職状況に応じて面接対策			授業形態	講義	
到達目標	CAになる自覚を持つ					
使用テキスト						
成績評価方法	・期末試験40% 平常点60% 授業態度、課題、身だしなみによる評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について CAの仕事のおさらい、不安に感じている事などを共有				
2回	ビジネスマナー	報告連絡相談の重要性について 報告の仕方 (就職状況に応じて面接対策)				
3回	ビジネスマナー	グループワーク 報告ワーク 連絡ワーク				
4回	CAの仕事を理解する	救難訓練について触れる (就職状況に応じて面接対策)				
5回	CAの仕事を理解する	救難訓練について触れる (就職状況に応じて面接対策)				
6回	CAの仕事を理解する	機内アナウンス (就職状況に応じて面接対策)				
7回	CAの仕事を理解する	敬語の使い方 お礼状の書き方 (就職状況に応じて面接対策)				
8回	CAの仕事を理解する	CAの仕事のイメージ 入社～退社までのタイムスケジュール (就職状況に応じて面接対策)				
9回	CAの仕事を理解する	よく使う航空用語に触れる アロケーションチャートをもとに (就職状況に応じて面接対策)				
10回	CAの仕事を理解する	クレーム対応 クレームが起きた時にどう対応するかを考える (就職状況に応じて面接対策)				
11回	次回のプレゼンテーションに向けての準備	(就職状況に応じて面接対策)				
12回	プレゼンテーション	今までの授業を踏まえて社会人になるために必要な事 (就職状況に応じて面接対策)				
13回	次回のプレゼンテーションに向けての準備	これからCA受験を控えてる後輩たちに対してアドバイスをまとめる OG訪問を想定して				
14回	プレゼンテーション	これからCA受験を控えてる後輩たちに対してアドバイスをまとめる OG訪問を想定して				
15回	まとめ	責任のある社会人になろう				